

令和7年度 八代広域行政事務組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）報告書

1 報告書の作成趣旨

八代広域行政事務組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）では、平成30年度を基準年度として令和元年度から令和5年度までの5年間で、温室効果ガスの排出量を5%、令和9年度までに11%削減することを定めています。この計画において、温室効果ガスの総排出量を把握し、削減目標に対する進捗状況について点検し、その結果を公表することとしています。

2 令和7年度の温室効果ガス総排出量及びエネルギー別温室効果ガス排出量について

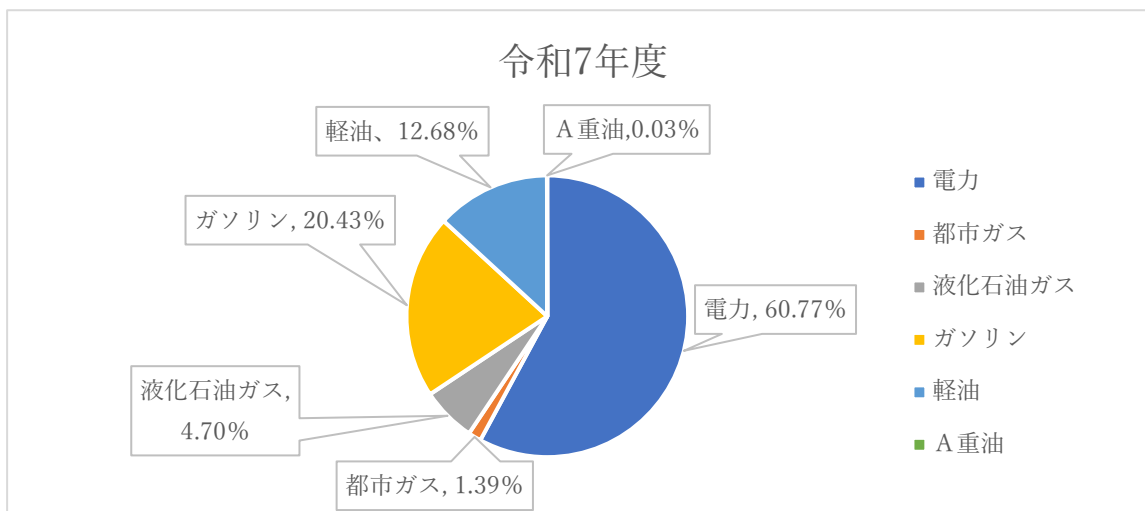
令和7年度における八代広域行政事務組合の事務・事業活動に伴う温室効果ガス総排出量は440,391.4 kg-CO₂で、基準年度（平成30年度）と比較すると、1.3%削減いたしました。これは令和7年度目標である9%削減には届かない結果となりました。

また、エネルギー別温室効果ガス排出量については、都市ガスが29.5%、液化石油ガスが19.0%、ガソリンが4.0%、A重油が68.3%削減することができましたが、電力、軽油につきましては、基準年度より排出量が増加しました。

①エネルギー別温室効果ガス排出量等

	平成30年度 排出量 (kg-CO ₂)	令和7年度 排出量 (kg-CO ₂)	削減量 (kg-CO ₂)	削減率 (%)
電力	263,030.8	267,627.8	△4,597.0	△1.7
都市ガス	8,709.6	6,141.8	2,567.8	29.5
液化石油ガス	25,523.2	20,675.9	4,847.3	19.0
ガソリン	93,741.2	89,987.2	3,754.0	4.0
軽油	54,955.6	55,821.2	△865.6	△1.6
A重油	433.5	137.5	296.0	68.3
合計	446,393.9	440,391.4	6,002.5	1.3

②令和7年度エネルギー別温室効果ガス排出割合



3 今後の取組について

令和7年度については、削減目標の9%には届きませんでした。令和8年度の削減目標である10%を達成できるよう地球温暖化対策に関する情報提供や研修会を開催し、職員自らが温暖化防止に取り組むきっかけとなる機会を積極的に創出するとともに、4R(※)や省エネルギーなど資源の有効利用を推進し、より一層の温室効果ガス排出量削減に取り組んでまいります。

※4R : Refuse (リフューズ) ・ Reduce (リデュース) ・ Reuse (リユース) ・ Recycle (リサイクル)